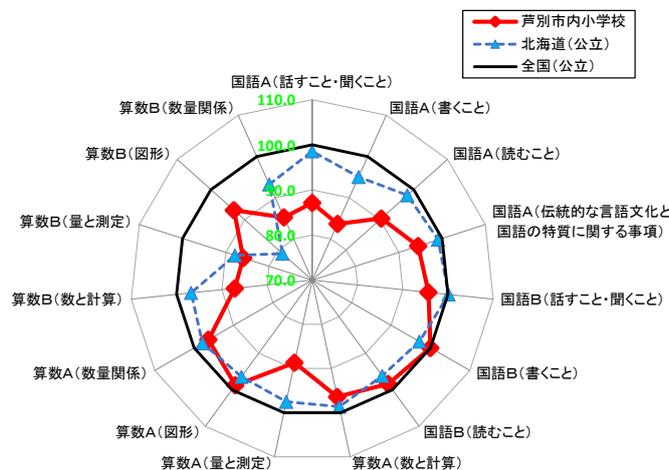


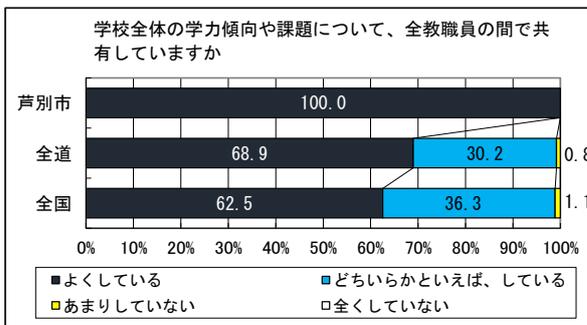
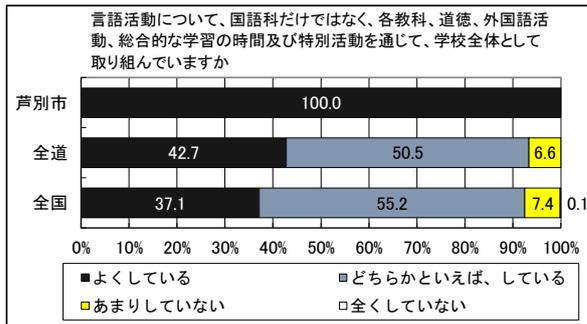
■ 芦別市内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 2校、児童数: 73人)

【教科全体の状況】

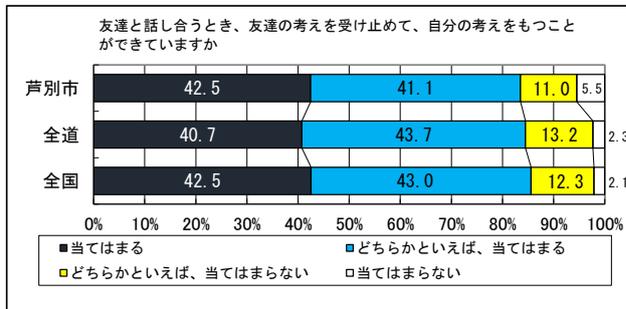
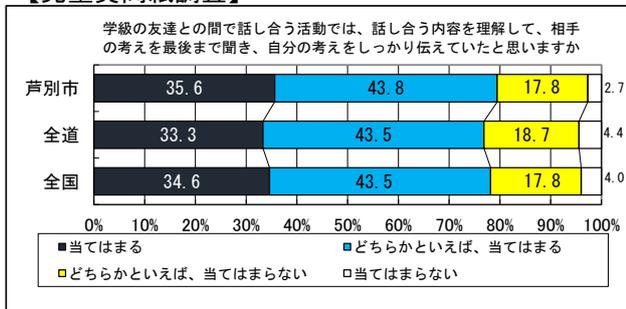
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bでは、「書くこと」で全国とほぼ同様になっている。 ○ 算数Bでは、「図形」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての教科及び領域で学校全体で言語活動に取り組んだ結果、話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞いたり、自分の考えを伝えたりできる児童が増え、国語Bの「書くこと」で全国とほぼ同様、算数Bの「図形」で全国に最も近くなったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全教職員の間で学校全体の学力傾向や課題について共有したことにより、アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善が進み、友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えをもつことができた児童の割合が全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「言語活動について、国語だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答している。 	

【芦別市の学力向上策】

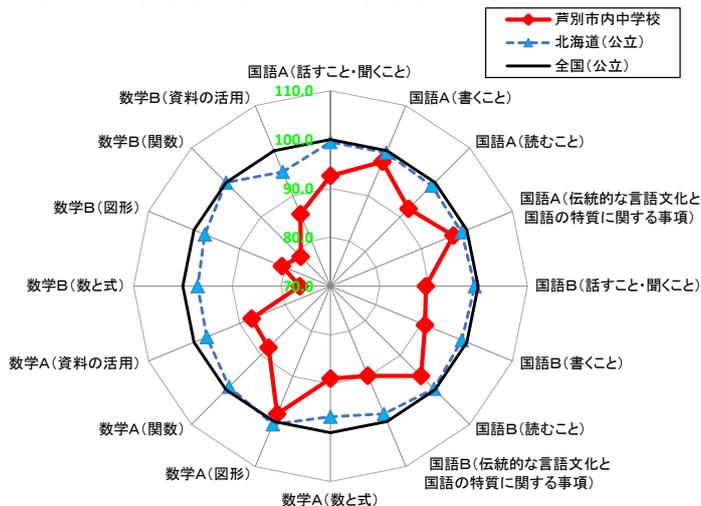
- ◎ 授業の受け方等の学習規律の定着の取組の徹底
- ◎ 家庭と連携した家庭学習の習慣化の取組の推進
- ◎ 漢字検定、算数検定の検定助成事業の継続
- ◎ 学習サポート教員・学習支援員による個に応じた指導の充実
- ◎ ICT機器を活用した指導方法やアクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善の推進
- ◎ 小中連携協議会を核とした小中一貫教育の推進
- ◎ 「教育だより」による教育活動の積極的な情報発信と共有化
- ◎ 家庭の教育力向上を目指した親子参加型の体験教室等の開催

■ 芦別市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:87人)

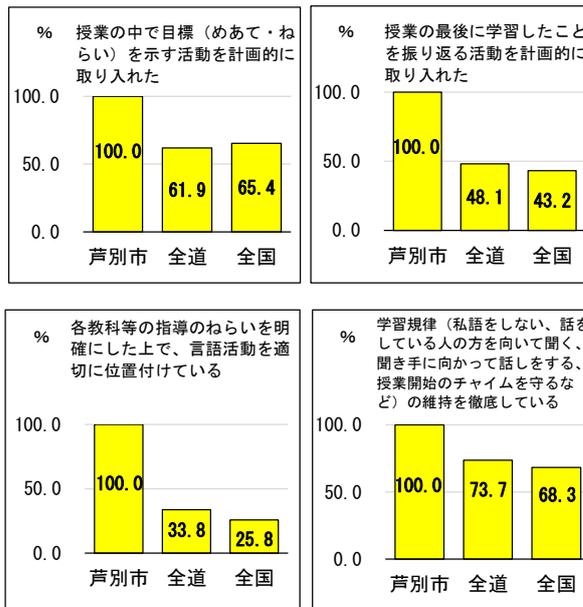
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを

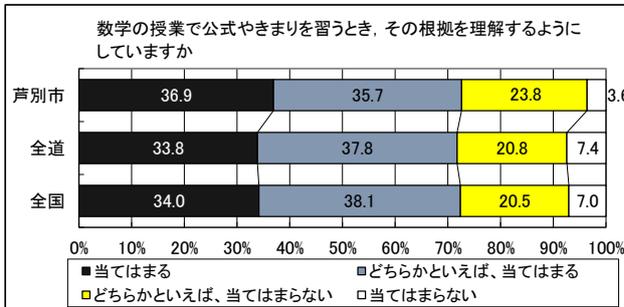
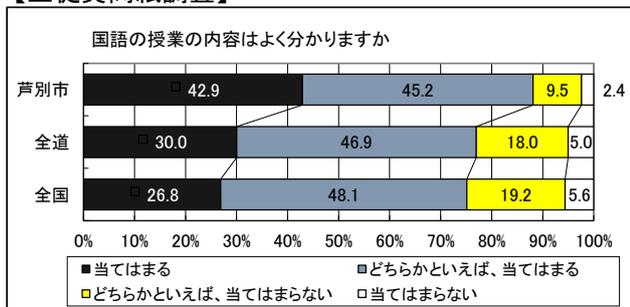
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは、「図形」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習規律の維持を徹底するとともに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動や授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた結果、学習内容の定着が図られ、国語Aの「書くこと」、数学Aの「図形」で全国に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教科等の指導のねらいを明確にした言語活動を適切に位置付けた取組の結果、数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「学習規律(私語をしない、話している人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話しをする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底している」と回答している。 	

【芦別市の学力向上策】

- ◎ 授業の受け方等の学習規律の定着の取組の徹底
- ◎ 家庭と連携した家庭学習の習慣化の取組の推進
- ◎ 漢字検定、数学検定、英語検定の検定助成事業の継続
- ◎ 学習サポート教員・学習支援員による個に応じた指導の充実
- ◎ ICT機器を活用した指導方法やアクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善の推進
- ◎ 小中連携協議会を核とした小中一貫教育の推進
- ◎ 「教育だより」による教育活動の積極的な情報発信と共有化